

さいたま市立小学校、中学校、高等学校 卒業生の保護者 様

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

これまで惜しめない愛情を注いでこられたお子様が立派な成長を遂げ、ここにご卒業を迎えられますこと、お喜びも一入のことと拝察いたします。心よりお祝い申し上げますとともに、これまでの学校の教育活動に対しましてご支援、ご協力を賜りましたことに対し、深く感謝申し上げます。

保護者の皆様は、お子様が生まれた瞬間から、我が子に対して限りない「愛情」を注ぎ、お子様からもあふれんばかりの「幸せ」を受け取っておられることと思います。また、成長していく我が子の姿に、手を離れていってしまうような寂しさと、力強く次の一步を踏み出そうとする頼もしさを覚え、とりわけ、それぞれの学校種の卒業式は、人生において非常に重要な意味を持つ節目であるとお考えのことと存じます。

その晴れの姿を、厳粛な卒業式でご覧になり、親子ともども喜びを分かち合いたいと心待ちにしていた矢先に、この度の新型コロナウイルス感染症拡大という前代未聞の事態となってしまう、保護者の皆様におかれましては、なんともやり場のない残念な気持ちとなられたことと拝察いたします。そして、その思いは校長をはじめとする学校職員や教育委員会事務局職員も同じでございます。

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、いくつかの自治体では、卒業式を中止する判断を下した様子も耳に入っておりました。しかしながら、さいたま市教育委員会では、何としても卒業式を実施したいと検討を重ねてまいりました。2月25日の「中止、または実施する場合は規模を縮小すること」という文部科学省通知を受けた際も、本市では、時間を短縮するとともに一家庭一名の保護者の参列での実施を考えておりました。しかし、その直後、突然の「全国一斉の臨時休業」の要請を受け、断腸の思いで、卒業生と学校職員のみで卒業式を実施するという苦渋の決断をすることとなりました。

保護者の皆様におかれましては、子どもたちの健康と安全が第一に優先されるべきであるという判断につきまして、何卒、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

このような決定をしてから、保護者の皆様からは、様々なご意見を頂戴いたしました。お子様の晴れ姿をご覧になれないことがどんなに残念なことか、また、教育委員会の決定へのご批判もあることは承知しております。現段階でもそれぞれのお立場で、様々な意見が交錯しております。しかし、今一番大切なことは、この感染を拡大させないこと、そして卒業生の門出に対し、保護者の皆様、学校関係者が心からの祝福をすることのみであると考えます。仮に、式場でその時間を共に過ごせなくとも、どの地からでも心からの祝福をしていただければ、子どもたちにとっては大変意義深い儀式となると信じております。

教育委員会といたしましては、この様な制限のある中ではございますが、卒業式の

持つ意義である、一人ひとりが自らの成長に誇りをもち、それを支えてくれた先生や地域の皆様、そしてご家族への感謝と将来への立志を示す、厳かな式としてまいりたいと考えております。

ただ今、各学校は、同じ学び舎で過ごした仲間が集い、思い出を分かち合いながら新生活に向って旅立つ、この素晴らしい日を迎えられたことを喜び合うために、学校職員一丸となって心を込めて準備を進めております。また、卒業式の様子を保護者の皆様に少しでもご覧になっていただけますよう、例えば、学校職員等が写真や動画を撮影しウェブサイト等を通じて閲覧できるようにするなど、各学校において、できる範囲で様々な工夫をしていく予定でございます。

重ねて申し上げます。保護者の皆様におかれましては、このような形で卒業式を実施せざるを得ないことにご理解いただきたく存じます。そして、学校、教育委員会が一丸となって、子どもたち一人ひとりが、決意新たに力強い一歩を踏み出すことができる意義深い卒業式を執り行うよう努めてまいりますので、是非、ご理解とご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

令和2年3月11日

さいたま市教育委員会
教育長 細田 眞由美